

平成 19 年 1 月 31 日

各 位

会社名 スカイマーク株式会社
代表者名 代表取締役会長兼社長 西久保 慎一
(コード番号 9204 東証マザーズ)
問合せ先 取締役経理本部長 有森 正和
(TEL:03-5402-6767)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成 18 年 11 月 14 日に公表した平成 19 年 3 月期(平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日)の業績予想を下記の通り修正しましたのでお知らせいたします。

1. 当期の業績予想数値の修正(平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	41,000	1,800	2,000
今回修正予想(B)	39,100	5,200	5,400
増減額(B-A)	1,900	3,400	3,400
増減率(%)	4.64	-	-
(ご参考) 前期実績 (平成 18 年 3 月期)	35,694	1,169	701

2. 修正の理由

第 3 四半期におきましては、東京＝福岡線は増便した効果も現れ搭乗率は堅調に推移しましたが、昨年 4 月 28 日に就航した東京＝札幌線は、引き続き競合他社との激しい顧客獲得競争が続いております。加えて、季節的に需要が落ち込む中で同市場への浸透・定着にも予想以上に時間を要しており、その結果、搭乗者数・搭乗率が予想を下回りました。

一方事業費につきましては、原油価格が下落傾向にあるものの、円安がさらに進行したため、十分なコストの抑制効果が出ておりません。また、翌期以降、順次返却することとなりました複数の Boeing767-300 型機の返却整備費用(リース経過期間分)を今期の費用(20 億円)として引当てたことにより事業費が大幅に増大しております。

全体として業績は回復基調にありますが、上記の通り業績の修正をいたします。

今後は、航空機を Boeing767-300 型から Boeing737-800 型に変換していきながら、運航

コストを下げ、航空機整備部門の拡充、定時運航率の向上、適正な航空運賃の提供、お客様サービスの向上等によりお客様の利便性を一層高め、また各路線の市場動向に応じた最適な機材を機動的に投入することなどにより、収益の拡大を図ってまいります。

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、最終の業績は、今後のさまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。

なお、平成 18 年 12 月 31 日第 3 四半期決算短信につきましては、平成 19 年 2 月 14 日の公表を予定しております。

以上